

## 諮詢映画

映画名	ホワイトハンドコーラス NIPPON～Brüder よろこびのウィーン～
制作者等	一般財団法人さわかみ財団
内容	本作品は、視覚障がいや聴覚障がいなど様々な個性を持つ子供たちが共に音楽を奏でる挑戦と成長を描いたドキュメンタリー作品である。
推奨理由 (案)	<p>合唱団の仲間として目標に向かって努力し、互いに支え合いながら達成感を分かち合う姿は、他者への共感や助け合う喜び、仲間と共に努力することの尊さといった価値観を伝え、社会の一員としての責任や倫理観を育てることに役立つものである。</p> <p>手話、口の動き、文字など多様な方法を組み合わせて協働する姿が描かれており、障がいの有無を超えたインクルーシブな取組みや他者との共生について、青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことができる。</p> <p>それぞれの表現方法を尊重し、互いに助け合うホワイトハンドコーラスのメンバーたちの描写は、青少年の人を思いやる心や多様性を尊重する姿勢を育てるものである。</p> <p>日本手話の「障がい者」の表現が「壊れた人」という直訳になってしまふことに違和感を感じ、それに対する合唱団メンバーの思いを素直に音楽で表現する姿や、ハンドコーラスの合唱が国際機関や国際都市の議会で披露され、評価されている様子が描かれており、国境・障がいを越えて共に創造する感動を体感できる内容であり、青少年の健全な心身の成長に資するものである。</p> <p>本作品は、条例施行規則第2条の優良図書類等の推奨の基準</p> <p>第一号 青少年の社会に対する良識と倫理観を育てるものであること。</p> <p>第二号 青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つものであること。</p> <p>第三号 青少年の人を慈しみ、大切にする心を育てるものであること。</p> <p>第六号 前各号に掲げるもののほか、青少年の健全な心身の成長に資するものであること。</p> <p>に該当し、青少年（主として小学生以上）を健全に育成する上で有益であると認め、小学生以上を対象に推奨を行う。</p>